

小樽 GOLD STONE

- 物件名：小樽GOLD STONE (ホール・カフェ)
- 住所：色内3-3-21 旧渋澤倉庫
- 電話：32-5588
- 所有者：株式会社サウンドクルー小樽
- 運営：山本英幸 (代表取締役)
- 主任と人員：津田隆裕 10人
- 建物履歴：
 - 明治28年 遠藤又兵衛倉庫→渋澤倉庫→
 - ブルーハウス→クレイジースパイス
 - 平成3年 小樽市歴史的建造物指定
 - 平成22年 小樽GOLD STONE
 - 平成23年 小樽市都市景観賞

■外観

外観は損傷もなく丈夫な倉庫であったため、業務用の看板を設置した程度で、ほとんど手を加えず。

■内観

- ①ホール／コンサートを主として、パーティーや集会用にも提供しているため、音響や安全面に大々的な改築。音響面では石壁が音が外に漏れやすいことから、射音と吸音の効果を計算し煉瓦と吸音材を使い、会場のどの位置からでも同じ音響効果を発揮する先進性。安全面では木骨補強。床はコンクリート敷きの上に木調のシックなタイルを敷設。
- ②カフェ／購入時には開口部が施されていたため、厨房の換気用の開口部を設置。梁はそのまま店内の内装に合うように黒く塗る。床も同様に金属模様のタイルを敷設。
- ③エントランス／当館と隣PRESS CAFEの外壁をエントランスの内壁に利用した造りで、この石壁を背景に、鉄骨補強。2階には快適な楽屋環境を整備。

■内容

代表取締役山本秀幸氏が「故郷に錦を飾る」気持ちと、「小樽を音楽の街に」という志によって、最高の音楽環境に相応しい小樽運河沿いの石造倉庫を選択。さらに札幌からの近さによってマーケティングを考慮。

■コンセプト

山本社長は「常に人と人のつながりを大切に」することを徹底。ホールでは音響や楽器に精通した津田隆裕氏が、最高の音楽環境を提供。カフェではサービス業に洗練されたスタッフとシェフによって、オシャレな環境と洗練されたサービスと料理を提供。

■客層

ホールでは札幌圏が60%、道外が20%、市内が10%。カフェでは市内が80%、観光客20%。



外観



エントランス



お洒落なカフェカウンター



遮音と吸音の壁造作



石壁ロビーの絵画



音響操作室



音響抜群のホール



津田隆裕氏



鉄骨補強のロビーと楽屋階段